

平成26年度 特色ある公民館事業（福島市：蓬萊学習センター）

少年教育
「ほうらい科学クラブ」

と き：平成27年1月10日（土）
と ころ：福島市蓬萊学習センター分館

福島市蓬萊学習センターでは、少年教育「ほうらい科学クラブ」を実施しています。講師は、福島大学共生システム理工学類教授・工学博士の小沢喜仁先生です。「ほうらい科学クラブ」は、今年で18年目を迎えます。子供たちの理科離れが叫ばれている中で少しでも子供たちに科学の不思議や科学のおもしろさを感じ取らせたいという思いからクラブが始まりました。以下は、今年度の2回目の活動の様子です。

第2回のテーマは、「再生可能エネルギーと省エネの関係？」と題して、「手作りモーター」や「くだもの電池」を作製し、実験を行いました。

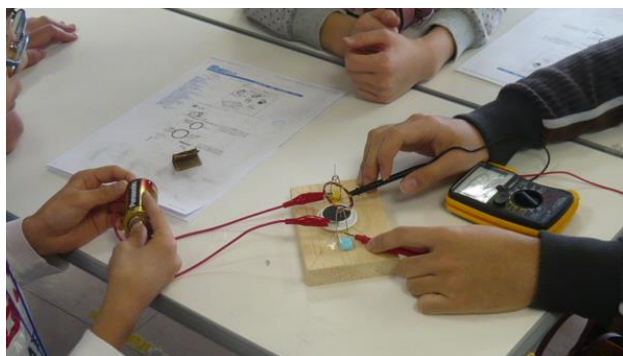
「手作りモーター」では、エナメル線を使ってコイルを作り、磁石や乾電池をつなぐことで、コイルを回転させる仕組みです。

「くだもの電池」では、レモンに銅板や亜鉛板、アルミニウム板をさし、導線でつなぐことで電流を発生させる仕組みです。

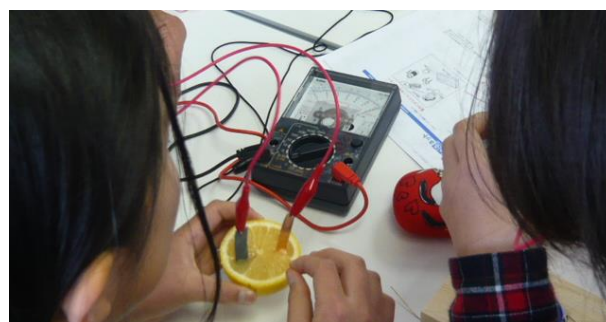
子供たちは、試行錯誤しながらもじっくり実験に取り組む、科学の不思議・科学のおもしろさに触れることができました。



講師の小沢先生



エナメル線を使ってコイルをつくり、手作りモーターを作製。実際にモーターが回るか実験！



レモンに銅板と亜鉛板をさし、導線でつなぐことで「くだもの電池」の完成！

今年度の「ほうらい科学クラブ」には、小学4年生以上の児童10名が参加し、4回の活動と1回の移動学習を実施します。移動学習では、東京の科学技術館を見学し、子供たちの科学への興味を一層深めさせていきます。

講師の小沢先生以外にも、地域の在住の方や大学生（ほうらい科学クラブOB）がボランティアとして関わっています。